



NPO PTPL “ともいき” 便り No.72

平成 27 年（2015 年）3 月 21 日発行

■春分（しゅんぶん） 3 月 21 日から 4 月 4 日までの節気

3 月 21 日から、「春分」の節気に入ります。「春のなかば。昼と夜の長さが等しくなり、寒さもすっかりやわらぐ頃」です。みなさんの家の近くには、どんな花が咲き始めていますか。数日前のことです。駅までの道を歩いていたら、突然ツーンとした香りが漂ってきました。沈丁花です。「春だなあ」と感じました。我が家にも小さな沈丁花がありました。でも、昨年家を建て替える際、植木鉢に植え替えたのですが、残念ながら枯れてしまいました。これから庭の植木を決めていくのですが、沈丁花も候補に入りたいと思います。

春の花といえば、桜。今年の開花予報によると、東京は 3 月 25 日ごろだそうです。家の近くの桜の蕾は、まだしっかりと閉じていますが、きっと暖かくなったら、あっというまに咲いて、あっというまに散ってしまうのでしょうか。しばらくは、桜から目が離せません。そんな桜の木の間には、ハクモクレン、ユキヤナギが、ぱあ〜っと咲きはじめ、レンギョウがチラチラと黄色い姿を見せ始めました。

3 月 21 日は春分の日です。「自然をたたえ、生物をいつくしむ」という趣旨で 1948 年に制定されました（「ともいき暦」より）。春分の日を中日として前後三日がお彼岸です。この期間に先祖供養をします。昔、日本では春分の日に太陽を拝む「日迎え」「日送り」という行事をおこなっていました。お彼岸の一日、午前中は東へと歩き続け（日迎え）、午後は西に向かって歩き続ける（日送り）というもので、行楽もかねて行われていたそうです。想像すると、楽しいのか苦しいのかわかりませんが、太陽を迎え、送るところに、太陽を礼拝する心を強く感じます。私は春秋のお彼岸、お盆、年の暮には、家族とお墓参りに行きます。一緒にお墓参りに行った父も、今はお墓の中にいます。ごしごし

と墓石をきれいに磨いていましたっけ。「ここに入っているおばあさんは(父の祖母)は、おふくろにきついことを言ってたな。」「おやじとおふくろ、なかよくしてるか」などとカラカラ笑いながら。父のことが大好きだった息子は、お彼岸、お盆に関わらずちよくちよくお墓参りに行っているようです。いったい、なにを話しているのでしょうか。

3月6日に、作家、編集者仲間で見月会をしました。恵比寿の高層レストランの一面ガラスに面したテーブルを予約。肝心の月は初めは雲に隠れていたのですが、突然すぽっと雲の上に顔を出しました。ほぼ満月で、美しいこと！一年に4回ほどこのメンバーで満月を愛でているのですが、今まで一度も見えなかったことがありません。小雨が降っていても、なぜか出てくれるのです。不思議。そして今夜は、まさに朧月夜。さっそく、高野辰之作詞、岡野貞一作曲の「朧月夜」を合唱。♪なのは一なばたけーに いーりーひうすれ〜♪ そして、『朧』という字は『月』に『龍』と書くんですね」という話題になって、ふと月をみたら、「月」のとなりに、「登り龍」のような雲がもくもくと出ているではありませんか。まさに、『朧』だ!と全員歓声をあげました。大人が5人、月で盛り上がっている様子は、ちょっと浮いていたかもしれませんが、そんな意味のあるようなないようなひと時が、とても楽しいきょうこの頃です。

春分のお月様は、4月4日が満月です。ぜひ、ご覧ください。

(<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2015/> の4/4をクリック)

暑さ寒さも彼岸までといいますが、まだ寒い日もあります。みなさま、くれぐれも、ご自愛くださいますように。

※朧月とは、春の夜のほのかに霞んだ月。(広辞苑より)

すとう あさえ (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事)

■ ともいき・ともうみ・ともさち雑感彼是

● 「祈り人」天皇陛下。

昔、国家的行事だった宮中祭祀は、戦後「天皇家の私的行事」とされ、国民に知られることはほとんどなくなりました。しかし森深い皇居の奥では、神聖かつ神秘的な祭祀が遠い昔と変わらぬまま連綿と続いています。特に祭祀を通じて神々への感謝と国家国民の安寧を願う天皇陛下の祈りは深い。

「国を災いからお護りください、もし災いが降りかかる時は、私の身体を通してからにしてください。」平安時代初めから始まったという新年の「四方拝」で捧げられるのは、国を護る一心からの祈りです。

国の安寧と国民の健康と幸せを祈願する「祈り人」、天皇陛下は1年365日、国と国民のため無私の祈りを続けています。

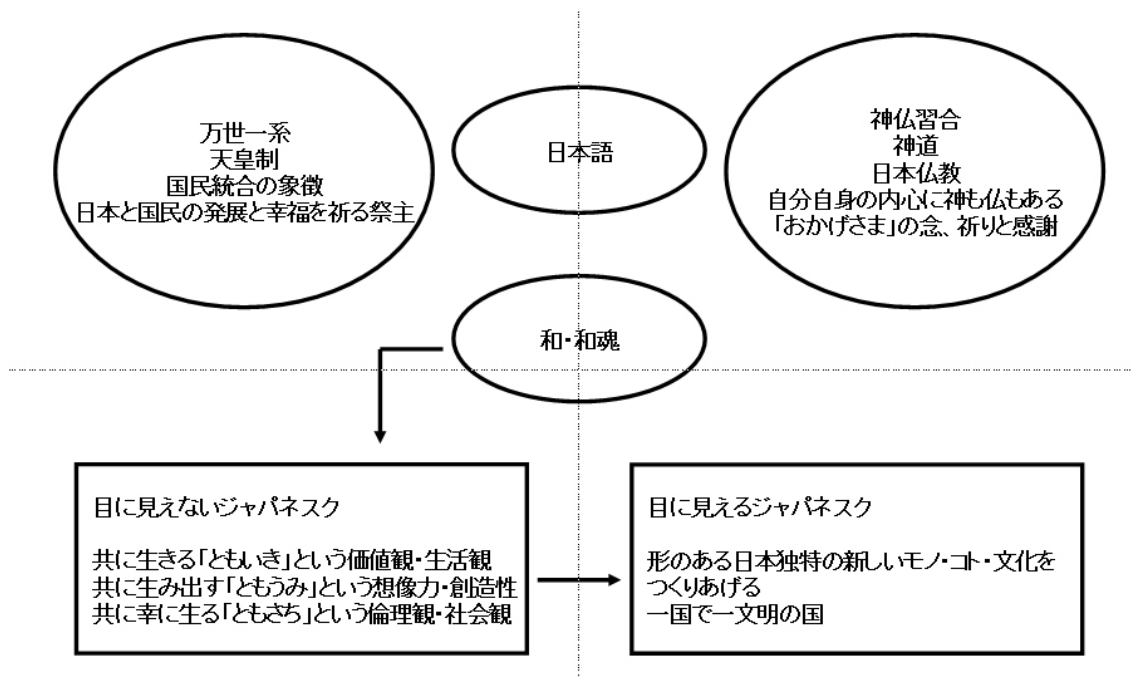
この天皇陛下に心からの感謝の念を抱く。それだけでいま失いかけている日本人の精神の規範を取り戻すことができるのではないのでしょうか。そして未来に向けて、力強く、自信を持って歩き出すこともできることでしょうか。

●国民の健康と幸せを願う天皇皇后両陛下。

被災地の人々をはじめ、天皇皇后両陛下に接した誰もが感じる独特の深遠な「思いやり」「いたわり」「やさしさ」のオーラは1年365日、国と国民の安寧を無私の心で祈り続けている日常に裏打ちされてこそ、自然に身にまとうことができるのでしょ

う。天皇皇后両陛下に心の底から感謝。

●「日本の本質・日本のアイデンティティ。それは日本的なるものジャパネスク」基本的な概念図



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■ 事務局だより

●桜前線。

春分の節気を迎えると西の方から桜の開花の便りが届き始めます。

本当に日本人は桜が大好きです。春の暖かい日差しを浴びて美しく映える桜の薄桃色が好きな方、満開のもとで親しい人とのひとときが好きな方、桜の潔い散り様が好きな方、とさまざまに桜への思いがあるようです。

●この号で「ともいき便り」も発行開始から丸3年が経ちました。これからも季節にまつわるお話や今年から始動した「ジャパネスク（日本的なるもの）運動」に関するお話もお届けしていきます。

これからもご支援のほど、なにとぞよろしく願いいたします。

●お知り合いの方で「ジャパネスク」の考え方、在り方について興味のある方にご紹介・ご案内いただき同志を募り、そしてそこから生まれる様々な展開アイデアを反映できればと願っております。そのためにも、是非とも、「ジャパネスク」のサイトをご覧ください。「ジャパネスク」のサイトアドレスは <http://japanesque.tokyo/>です。内容は順次広く深くしていく予定です。

●会員募集のご案内

NPO活動を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPLでは、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAXにてお尋ねください。

■お問い合わせは

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-2-18 虎ノ門興業ビル7階

電話：03-6205-7503 FAX：03-6205-7504

Email：info@plantatree.gr.jp